

平成 27 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：森林の分断化が地下微生物群集に与える影響の解明 英文:Effects of forest fragmentation on the belowground microorganisms
研究代表者	奈良 一秀
参加研究者	小泉 敬彦
研究成果概要	<p>【サンプリング】</p> <p>乗鞍岳を含む、国内のハイマツ林 7 カ所において土壌サンプリングを実施した。乗鞍岳のハイマツ林内に 0.5ha の調査プロットを 2 カ所設置し、計 30 の土壌コアを採取した。併行して、乗鞍岳一帯からハイマツ実生を 30 個体採取した。採取した土壌に含まれる菌根を形態によって類別し、その根端から DNA 抽出を行った。これらから rDNA ITS 領域の塩基配列を取得し、その相同性から OTU (operational taxonomic unit)作成および菌種同定を行った。</p> <p>【分子解析】</p> <p>全調査地を合計して、4377 の DNA サンプルが得られ、その内 2032 のサンプルから菌種同定に用いる塩基配列を取得した。OTU 作成の結果、乗鞍岳では 52 菌種が確認された。</p> <p>【新種記載】</p> <p>乗鞍岳において子実体が採取された 2 菌種を新種として記載した。<i>Rhizopogon alpinus</i> Koizumi & Nara および <i>Rhizopogon nitidus</i> Koizumi & Nara と命名した。</p>
整理番号	D10